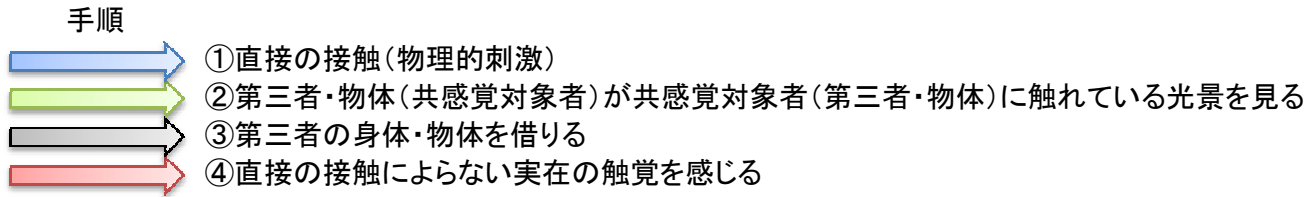


# ミラータッチ共感覚図解 岩崎純一

すでに欧米では、多くの実験により実在が証明され、論文も多数出ているミラータッチ共感覚ですが、今一度、管理人の私や他のミラータッチ共感覚者の実感を分かりやすく図示しておきます。



- ④の触覚は、実感としても、直接の五感による触覚と同じ現象と感じられている。
- ただし、実際に触っているのが自分ではなく第三者であることは理解している者が多い。
- 上記二つのことがなぜ同じ自我の中で成立するのかが研究されている。
- (B)は、第三者や物体を介さず、目視のみで触覚を得る共感覚。(従って、「ミラータッチ」とは言えない。)
- (E)と(F)の「物体」とは、動植物・自然物をも含み、どんな形状のそれらでも共感覚が起こる。例えば、対象者の肩に木の葉や雨が落ちた、あるいはショルダーバッグの紐が掛かったのを見たとする、全く同じ強度や面積で対象者の肩を触る現実の感覚が生じる。このとき、手で触れたように感じるのがほとんどだが、肘や足などの場合もある。(主体と物体とが同じ形状ではないので、これも本来は「ミラー」とは言えない。)
- 主体が男性の場合、女性に対してしかこれらの共感覚を覚えない者がいる。(私もそうです。私に対女性ミラータッチ共感覚と呼んでいるものであり、対女性共感覚のうちの触覚要素に当たる。)
- ただし、(B)の型は、触覚以外の対女性共感覚の基本型でもある。すなわち、遠方からの排卵・月経感知(生じるのは色覚や聴覚)なども、(B)の図に含まれる。

